



大豆乾燥調製貯蔵施設竣工祭（施設内／6月22日）

■発行日/令和元年7月1日/No.1407号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



作業中の女性部の皆さん

吉村俊子）の皆さんのが集まり、JA建物等の出入口に花プランターを設置しようと、当JA営農事務所前で花プランター作りを行いました。

「花いっぱい運動」は、色とりどりの花を植え、峰延地域の景観、環境美化のために奉仕活動として毎年この時期に行っています。

花プランターは、花を一つ一つ鉢からプランターに丁寧に植え替えて作りますが、色のバランスを考慮しながら作っていました。花プランターの設置場所は、営

A建物等の出入口に花プランターを設置しようと、当JA営農事務所前で花プランター作りを行いました。

JA女性部が「花いっぱい運動」でJA建物に花プランター設置

農事務所の出入口、営農資材店舗の出入口、JAみねのぶ店の出入口に各2基、本部事務所出入口に1基、市内外から来客がある給油所には4基を設置、合計11基を設置しました。

J Aにお越しの際は、ご覧になつて下さい。



今年も花プランター、完成しました！

森川組合長が推進本部長となり、今年取穫する米・大豆等と来年月27日から8日間にわたり行われました。

米・麦・大豆の 出荷契約終える

最終日に、高田代表監事から常勤理事、幹部職員に対し監査講評が行われました。

監事監査の実施は一事業年度において四半期毎に年間4回が計画されていて、今回は本事業年度で最初の監査となります。総会で議決された本年度の事業計画に対し四半期毎に本年度の計画並びに前年度実績と対比し事業の進捗状況を確認し合わせて会計処理の適正等も監査が行われます。

職員がそれぞれ担当の組合員宅を訪問し説明を行い契約が行われました。

訪問先の組合員の皆さんには温床の後片付けや水稻の補植作業等を中断しての対応や早朝、夕方に多く出荷いただきますようお願ひいたします。

感謝申し上げます。今後は一俵でも対応いただきましたことを厚く感謝申し上げます。今後は一俵でも多く出荷いただきますようお願いいたします。

第1回監事監査終る

本年度の第1回目の監事監査が、4月末日を基準日として6月12日から3日間の日程で高田代表監事以下3名の監事により執行されました。

吉田 カズ子さん（82歳）5月29日
美唄市峰延町峰樺二区

6月25日に第5回（6月）定例理事会を開催しましたが、付議事項はありませんでした。

おくやみ申し上げます

第一報徳

貯蓄は譲道の一つ

翁のことばに、多く稼いで錢を少なく使い、多くたきぎを採つて焚くことは少なくする、これを富國の大本、富國の達道という。ところが世間の人はこれを吝嗇といい、強欲ともいうが、それは心得違ひだ。なぜなら、人道は自然に反して、勤めることによつて立つ道なのだから、当然貯蓄を尊ぶのだ。そのだから、貯蓄といふことは、今年の物を来年に譲る、一つの譲道なのだ。親の身代を子に譲るのも、貯蓄の法に基づくものだ。こうしてみてくると、人道は貯蓄一つで成り立つとさえいえる。だからして、富國の大本、富國の達道といふの



新酒発表会(6月3日)で挨拶を述べる森川組合長

6月3日、岩見沢グリーンラン ドホテルサンプラザで、当JAの 日本酒「純米大吟醸 一圓融合」 の今年の新酒発表会を開催しまし た。

この酒は、峰延産の酒造好適米 「きたしづく」を原料に、栗山町 にある小林酒造株式会社で醸造さ れたアルコール度数16%の純米大

「一圓融合」新酒発表会を開催

吟醸で、この発表会は今年で4回 目となります。

最初に開会挨拶で森川組合長は、 お忙しい中、足を運んでいただき 関係各所の皆様に感謝を申し上げ、

「一圓融合」を造った当時の経緯を 紹介しました。続いて原料の「きたしづく」を生産する浅香邦彦氏から 酒米栽培に取り組む思いについて述べられました。また、「一圓融合」 を醸造する小林酒造株式会社の小林 精志専務から今年の酒の出来栄えや 風味等の特徴や自社の酒造りへの思 いを述べられました。

会場では、昨年の「一圓融合」と の飲み比べが行われ、「一年寝かせ るとまろやかだね」、「今年はさつぱりしているね」等と色々な感想が 聞こえ、皆様から大変好評をいただ



きました。

「一圓融合」は、今年も2千本 が製造され、当JAの生活店舗で 販売されているほか、一部のコー プさっぽろ店で720ml入り1本

2500円で販売されています。 重厚な色使いの瓶を米粒を象つ たデザインのパッケージに入れて販 売していて、お土産、贈答に最適で すので、ぜひお買い求め下さい。

「小林篤一翁顕彰公園」 雜草取り行う

6月14日、小林篤一翁顕彰公園 内の雑草取りを行いました。雑草 取りを行ったのは、当JAの役員 OBで構成する協栄会の皆さんと 毎回応援してくれている美助つ人 俱乐部（代表 前川隆）の皆さん です。公園内の雑草取りは毎年6 月と9月の2回行っています。

雑草取りを行ったのは、協栄会 の皆さん7人と森川組合長、安達 常務理事、職員2人に応援の美助 つ人俱乐部（代表 前川隆）の皆 さん6人の総勢17人で午前8時か ら雑草取りを開始し60分ほどで作 業を終えました。

前日までは雨天と曇天が続いて いましたが、当日はカラッと晴れ 上がり、作業をしていると汗ばむ

ほどでした。

役員OBの皆さんは久々に顔を 合わせてお互いに近況などを話し ながら作業に励んでいました。作 業を終えて、工藤勝善会長は当日 のお礼と秋にも雑草取りをお願い したいと述べていました。



雑草取りを終えて

吉田彰さん北海道指導農業士 称号授与を祝う会を開催

6月11日、当JA三階会議室で、 吉田彰さん（光珠内北）の北海道 指導農業士の称号授与を祝う会が 開催されました。

空知農業改良普及センター、美 岐市役所、関係組合員の皆さん、

J A役職員等58名が集まり吉田さんの称号授与を祝いました。

本年2月19日に札幌全日空ホテルで開催された平成30年度北海道指導農業士・北海道農業士称号贈呈式で指導農業士44名、農業士63名が新たに北海道知事より称号を授与され、空知管内としては当JAの吉田彰さんその他、5名の方が指導農業士の称号を授与しました。現在当管内では、平成14年度に吉村俊子さん（光珠内北）、平成28年度に加藤禎行さん（豊葦第一）



北海道指導農業士称号を授与された吉田 彰さん



が称号を授与されています。

北海道指導農業士は、次代の担い手の育成指導や地域農業の振興等に対する助言、協力をを行う優れた農業者の活動を助長する目的として昭和46年に創設され、経営実績が優れ、担い手育成に強い熱意と指導性があり、地域のリーダーとしても活躍が期待される農業者を市町村長の推薦により知事が認定する制度です。

吉田彰さんは、平成7年の就農以

来、平成17年度に農業士称号授与、同年度にJAみねのぶ青年部部長、平成19年度よりJA青年部空知連合会の役職を歴任された他、地域組合の役職等や峰延ブランド米生産部会の副会長、平成27年度からは野菜生産・販売組織であるカラフルの会長を務められております。また、試験栽培や調査に理解が大きく、普及センターやJAにおける麦プロジェクトに参加する等、地域の生産性向上に尽力しております。これまでの活動が大きく評価され称号の授与となりました。今後も地域農業リーダーとしての活躍が期待されます。

J A青年部が 現地研修会を開催

6月13日午後、青年部の笹木敏文営農委員長の圃場（光珠内）で本年度の青年部現地研修会を開催しました。

今回は、青年部が取り組んでいた農業者の活動を助長する目的として昭和46年に創設され、経営実績が優れ、担い手育成に強い熱意と指導性があり、地域のリーダーとしても活躍が期待される農業者を市町村長の推薦により知事が認定する制度です。

吉田彰さんは、平成7年の就農以

化に資する技術で実際に現地を確認した結果、慣行栽培と比較しても遜色ない生育となつており、青年部からは前向きな声が聞かれました。また、水稻幼穗形成期からの水管理と病害虫の防除についての研修では深水管理や病害虫の防除のタイミングについての技術を再確認し、合わせて秋播小麦の今後の管理についても研修を受けました。その後の質疑応答では、青年部員より積極的に質問がなされ、有意義な研修となりました。



講師は空知農業改良普及センターニニ係長

J A 共済一斉推進終る

本年度の長期共済一斉推進は、6月17日（月）から5日間の日程で実施されました。

例年通りJA職員とJA共済連の応援3名による3班体制で組合員宅に出向き推進を行いました。

また、今回の一斉推進に先立つて、5月27日にJA共済連職員が講師となり推進に当たる職員を集めて研修会が開催され、推進の必要性や推進のポイント等を研修しました。

今回の一斉推進では、仕組改定



初日(6月17日)の事務所で行った進発式の様子



相談の様子

6月14日、当JA会議室で年金相談会を開催しました。

当JAでは、組合員や利用者の皆様が安心して年金を受給できるよう年金相談会を毎年開催して

年金相談会を開催

今後は推進期間中にあいにく不在でお会いできなかつた方を含め再度訪問いたしますので宜しくお願いいたします。

のあつた建物更生共済を中心に入療共済、コンバイン等にご加入いただき、保障額で18億9137万円の推進結果となりました。ご加入に対し厚くお礼申し上げますと共に各戸への訪問の際には除草剤散布等の農作業を中断してご対応いただき感謝を申し上げます。

バスカツプ狩り始まる

本年のバスカツプ狩りは、昨年より3日早い6月22日（土）から7戸の農園で始まりました。

農協には2週間前から開園日の問合せの電話が相次いでいました。

開園日の22日は朝から雷雨その後も強雨が断続的に続く中を熱烈なバスカツプファンの皆様が訪れて合羽着用でバスカツプの実を摘んでいました。

《バスカツプ狩り》

・期間：6月22日から約3週間

（ただし、バスカツプの実が無くなり次第終了します。）

・開園時間：7時～17時

・料金：入園無料

・摘み取った実は全量持ち帰り

1kg1、100円

・摘み取り済みは、1kg2、000円

・問合せ先：JAみねのぶ販売企

画課
(0126-67-2115)



北農園(6月24日)

大豆乾燥調製貯蔵施設竣工祭

5月7日に工事施工業者から完成引き渡しを受けた大豆乾燥調製貯蔵施設の竣工祭が6月22日に行われました。

竣工祭は同施設内で執り行われ、青年部と女性部の部長、施設運営委員長、農民協議会委員長、当JA役員、行政関係者、施工業者ら51人の方が新施設の完成を祝い、今後の安全運用を祈願しました。神事の後、森川組合長は「高度な調製設備と冷温貯蔵庫を備えた施設でニーズに応えることができる。品質向上により契約栽培が増え、



神事の様子

生産者の所得増が見込める。」と挨拶を述べました。

この施設は、国の「平成30年度産地パワーアップ事業」により昨年8月に着工し本年4月に工事完了、5月7に引き渡しを受けました。事業費は10億5600万円、うち4億7210万円が国の補助金です。乾

燥調製施設は鉄骨造3階建て1021m²、貯蔵庫は鉄骨平屋建1396m²。風力選別機、マグネットクリーナー、汚粒クリーナー、比重選別機、色彩選別機、シフターが装備され、シフターで極小粒から大粒まで粒径別に仕分けます。

大豆の作付面積は年々増加し現在は約430haで、当JAの農地の約1割となっています。今秋から受け入れを始め約千トンを見込んでいます。

農業用廃プラスチック類回収 青年部が実施

6月21日、JA青年部が農業用廃プラスチック類の回収を行いました。

雨天が心配される中、青年部の盟友の皆さんは、早朝から事前に決めた役割に当たっていました。

回収したのは、使用済みのハウスビニール、マルチ、育苗箱、肥料袋、農薬の空容器等で、168



排出者毎に重量を測定し記録します

人の組合員の皆さんから43トン余りの産業廃棄物を回収しました。峰樺3区の農産物検査場所に集められ、排出者（組合員）毎に重量を測定・記録した後に種類毎に分別して運送会社の大型トラックに積み込まれ苦小牧の産業廃棄物処理業者に搬送されました。

回収した廃プラは固形燃料として産業廃棄物処理業者が運営する苦小牧にある火力発電所で再利用され化石燃料の代替燃料として有効利用されます。

J Aでは、生活環境を守り「環境に優しい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。

JAやJA関連団体へ100%就職 令和2年度 第1回学生募集

(平成30年度実績)

大学・短大・専門学校
高校生大歓迎

- 定員60名 •男女共学 •1才年、全寮制 •満24歳未満(平成31年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:9月10日・11日 •願書受付:7月1日~8月13日消印有効 •学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
TEL 0120-918-417 JAカレッジ 検索

JAグループ通信 36

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、6月13日に吉川農林水産大臣、森山TPP等対策本部長をはじめとした自民党農林幹部、道内選出与野党国会議員に対し、日米貿易協定交渉に関する生産現場の不安や懸念を訴えるための要請を行いました。要請には、JA北海道中央会、連合会の役員ら約20名が参加しました。トランプ大統領がTPPには縛られないことや、期限ありきの合意について言及したことを受け、生産現場で戸惑いが広がっていることから、改めて国内農業に与える影響を検証し、期限ありきの交渉を行わないことなどを求めました。

吉川農林水産大臣からは、農業関係についてしっかりと守る考えがあることや、森山本部長からは、早期の合意に関して否定的な見方が示された他、野村農林部会長からは、昨年9月の日米共同声明以上のものにはならない、といった発言がありました。今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



毎年6月、JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金感謝ウィーク」を開催しています。今年は、6月10日～28日の期間で開催しました。期間中、北海道警察と連携して、特殊詐欺被害防止に向けた合同の啓発活動を全道6JA(6店舗)で実施しました。JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済連は、(一財)北海道交通安全協会に飲酒運転撲滅うちわ5万本、(公社)北海道交通安全推進委員会に夏の交通安全運動ポスター9千枚・チラシ5万枚を寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2018年度入賞作品が掲載されており、全道各地で掲示やイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



ホクレン



ホクレンは首都圏の主婦層を対象に4月25日から27日までの期間で東京ビッグサイトにて開催された「第12回ホビークリッキングフェア」の手作り料理イベント「ふれあいクリッキング☆スタジアム」に出展し、北海道産馬鈴しょでん粉100%の顆粒片栗粉「とろりんぱっ」をPRしました。約180名を超える主婦の皆様が「とろりんぱっ」を使った「カリカリ豚丼」の作り方を体験し、同商品の手軽さに驚き声をあげていました。



JA北海道厚生連



遠軽厚生病院では、新たな健診(オプション)として、脾臓・胆のうドック及び乳腺エコー検査を開始いたします。受診できる人数については限りがございますが、皆さまの健康のお役に立てるよう今後もニーズに合った検診を提供していきたいと思います。詳細は、病院へお問い合わせいただけます。ホームページ等でご確認ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



知らないと
損する

農業者年金に 加入して安心で 豊かな老後を

- 60日以上農業に従事する方なら広く加入できます。
- 保険料は全額が社会保険料控除の対象で大きな節税効果。
- 一定の要件を満たす方には月額最大1万円の保険料補助。

ご存じですか？

- ・65歳の日本人の平均余命は
男性19年（84歳）、
女性24年（89歳）

農業者年金受給者は
さらに長生きされる
データがあります。

高齢農家世帯の家計費は、
月額約23～24万円
が必要です。
(総務省家計調査などより)

国民年金の支給額は
一人、月々約6万5千円
(40年加入の場合)



豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは十分と言えず、
老後の生活費は自分で準備する必要があります。

農業者の皆様も、メリットがたくさんある農業者年金に加入して安心で豊かな老後を迎えましょう。

農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額の試算～

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	77万円	65万円	1,645万円	1,742万円
30歳	30年	720万円	51万円	43万円	1,092万円	1,156万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	646万円	684万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	288万円	305万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算です。受取総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の15年間（平成28年度まで）の運用利回りの平均は、年率2.77%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、平成30年度は0.35%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。